

日頃から防災対策を強化
コミュニケーションを大切に
笑顔が見える支え合い
お互いに見守り支える仕組み
健康を守り応援するまち
健診・検診を推進

まさよ通信



一緒に考え、一つ先へ、一步を踏み出す郡上に。

6月の定例会の折に、今年の夏は暑い日が多くなりそうですので、対策をして乗り切ってくださいと申し上げました。なるほど本当に暑い日々が続きました。9月に入っても暑い日が続き異常気象と気象庁でも伝えていますが。命を守る事は一番ですが、自然環境のことを考えることも必要ではないかと思えます。運動会やスポーツの秋、実りの秋など楽しく豊かな秋になりますように願います。

令和6年第4回定例会報告 9月5日～9月27日

人事案件/条例関係/令和5年度決算認定/令和6年度補正予算/計画の変更など40議案を可決

請願 3件 <不採択>

- 訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬の引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願
- 選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を国に提出することを要望する請願
- 健康保険証の存続を求める意見書を国へ提出することを求める請願

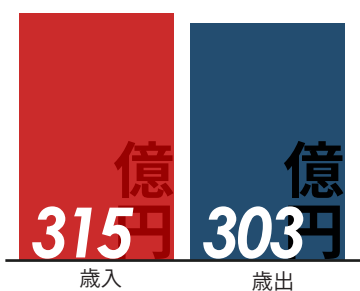
国への意見書提出

- 選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書

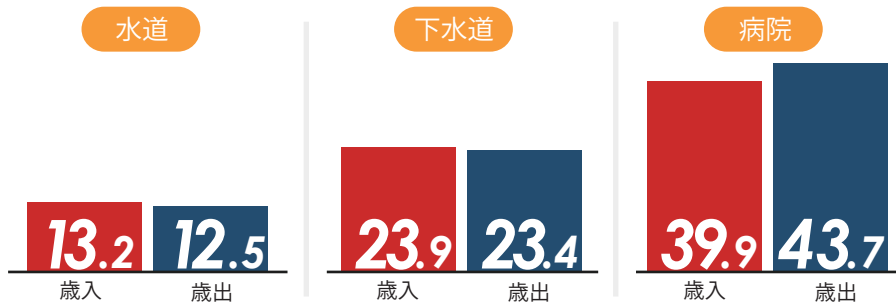


令和5年度決算額

一般会計

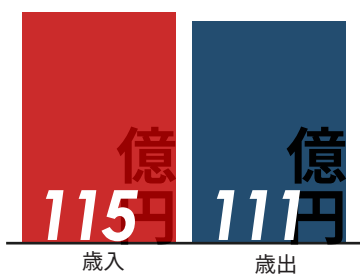


企業会計 (収益)



単位:億円

特別会計



今年度は議選監査委員として決算審査を行いました。各部で市のために一生懸命努力されていることがよく解りました。市の財政はきびしいものがありますが、持続可能な郡上市であるために公正公平な立場で監査を行いたいと思えます。市の尽力・議会の監視・市民の理解が必要と思えます。

田代 まさよ

携帯 090-5036-3971
住所 郡上市白鳥町中西488-1
E-mail masayo.t4881@gmail.com

過去の通信が
閲覧可能 ▶



公式Webサイト

友だち登録で
毎号通信が届く ▶



LINE友だち

9月定例会 私の一般質問と市の答弁

ほ場整備のその後について

質問 ほ場整備を行ってから40年以上経過している。畦畔ブロックなどで仕切っている区画の小さい田んぼでは、手間もかかり引き受ける際の課題であり担い手としては広いたんぼの方が効率も良く有難いとのこと。中山間地域直接払い交付金などある中ではあるが、畦畔ブロックの除去の際に負担軽減はお願いできないか

答弁 三輪建設部長

小区画のほ場の畦畔ブロックの撤去を公共事業として実施することは、公益性の観点から困難である。一方で、受益面積が、10ha以上や担い手の経営面積シェア率の増加など採択要件を満たすことにより、かんがい排水や農道整備と組み合わせた中の1工種として公共事業で実施することが可能となる。事業化には、受益者の合意形成が必要。「地域計画策定」の取組みの中で、土地改良としてのほ場規模の大区画化や付帯施設としての農業用水、農道整備の事業化につながることも想定されるので検討頂きたい。

まさよ 大区画になるようなほ場整備をして頂き、担い手の方々が仕事を受けやすくなり、生産性も高まることが可能であれば、「地域計画」を早急に進めて頂きたい。

市民病院について

質問 市民病院産科の特徴や強みは

答弁 藤田市民病院次長

世界保健機関が推奨する、「赤ちゃんにやさしい病院」として2009年に認定を受けた。この認定の医療機関は、岐阜県内において岐阜県総合医療センターと当院の2病院のみとなっている。当院では、母乳栄養の利点と母子間のスキンシップの大切さなどを伝えている。赤ちゃんの哺乳意欲に合わせて「早期授乳」を実施し、母子双方の精神的な負担を軽減し、「母乳育児の支援」を早期から開始している。出産年齢の高齢化など、医療介入も増加しているが、母親の気持ちを汲み取り不安要素を取り除き育児支援を行っている。



質問 出産前後や里帰りなどのサポート体制、安心して出産できる環境づくりの体制は

答弁 藤田市民病院次長

出産前のサポート体制は、助産師が不安の軽減と自然な経過の出産を迎えられるよう支援、お産時は市で唯一の出産施設として、安心安全に出産をできる体制づくりを行っている。出産後市在住の方は、地域の保健師と協働で問題解決に向け取組み、病院から地域へと切れ目のない支援体制の構築を目指す。里帰り出産は、出産数の約3割となる。また、妊婦の経過を確認しながら、出産・退院後のサポートまで切れ目のない支援を実施。

市職員の男性育児休業について

質問 男性職員の育児休業取得率と向上のための取組は

答弁 河合市長公室長

昨年度の取得率は、53.3%。取得率向上に向け、「育児休業等取得意向シート」を作成し、男女ともに使用。育児休業等の取得意向や取得予定期間を双方が共有することで、取得を円滑に進める狙いがある。



質問 男性育休の取得率を伸ばすために市長の考え方と関わりは

答弁 山川市長

ジェンダーにとらわれず、市の女性職員だけでなく男性職員にも、育児休業の取得を推進し、男性の育児休業は当たり前な社会を目指して、育児休業する職員及びその所属に対し「市長からのメッセージ」を送っている。職員には、『家族との絆を深め、その時にしかできない経験をし、子育て、家族との時間を楽しみ、大切にしてほしい』。誰もが働きやすく、魅力的な職場環境づくりを進めるため、本人・所属に対して育児参加の促進及び応援・協力を呼び掛けている。